

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：イアン・ライズリー
 第 2550 地区ガバナー：太城 敏之
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



ロータリー：
変化をもたらす

会長：高木 茂 幹事：稲垣 政一
 事務局：(有)稲垣商事内 稲垣 政一
 〒325-0038 那須塩原市豊浦北町71-3
 TEL:0287-64-1062・FAX:0287-64-1751
 E-mail：wk857@waltz.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2806回 高木茂年度 第25回 会報 2018 3 7 司会 藤崎善隆 君



会長挨拶 高木 茂 会長



東京ロータリークラブ例会への参加

先週は、高木慶一会員、大島三千三会員におかれましては、宇都宮ロータリークラブの会員とともに、国際ロータリー第2550地区タイのバトムワロータリークラブに出向き消防車贈与式に出席していただきありがとうございました。

私の本年度の計画であります、歴史と伝統あるクラブであっても「井の中の蛙大海を知らず」ではいけない。との思いから、1920年10月米山梅吉氏が創立し、会長に就任した、日本のロータリークラブの第一歩となった東京ロータリークラブの例会に出席すれば多くの得るものがあると思ひ例会にアテンダンスしたわけでありませう。

稲垣幹事、SAAの皆様には段取りありがとうございました。

例会のプログラムは「水と衛生月間」にちなんで環境保全「江戸ー東京・水の都」と題して法政大学デザイン学部陣内秀信教授の講演を拝聴しました。江戸から東京へ水運と都市とのかかわりで開けてきた大都市東京の話、実に興味深い講演でした。

黒磯ロータリークラブも鈴木久雄会長(2006～07)の時に、第1回那珂川水質調査を実施し那珂川の源流から下流へとサンプル採取し、調査結果を、毎年行政に提供しております。「水」は人々の営みに一番大切なものであります。これからも黒磯ロータリークラブの継続事業として実施してもらいたいと思ひます。

今回、例会に出席し同席した会員の方々とは名刺交換をしましたが、皆さん一流企業の代表の方々で大海の感触を感じてまいりました。

私の年度も残すところわずかになってまいりました。

黒磯ロータリークラブは地元の良さを継承して歴史と伝統を守っていききたいと思ひます。

簡単ではございますが以上で会長挨拶といたします。



8時30分 石山を出発



例会場の帝国ホテルには待合室があります。



心なしか緊張感が漂う??



例会後記念撮影

～当日のお料理～

- キャベツとソーセージのスープ(146kcal)
- サーモンのロースト
パプリカと白インゲン豆と共に(426kcal)
- チョコレートのムース
洋梨のコンポートを添えて(131kcal)
- パン(162kcal)
- コーヒー

トータル865kcal



「遊就館」を見学

卓話は、法政大学デザイン工学部教授陣内秀信氏による、『江戸・東京-水の都』と題したもので、徳川家康による江戸開府から、明治維新、戦後からの高度成長を経て現在に至る、「水の都」東京のこれからについて、非常に興味深いものとなりました。



帝国ホテルを後にし靖国神社へ



黒磯に帰着後は石山にて懇親会が行われました。



2805例会卓話(詳報)



挨拶する和気SAA委員長



高木会長挨拶



大森貞男会員による乾杯



緊張もほぐれ和やかに

前回(第2805回)例会でお話頂きました阿久津左官店代表取締役阿久津一志様の卓話詳報を掲載させていただきます。



阿久津一志様

皆さんこんにちは 先ほど石山さんからご紹介をいただきました。私は那須塩原市の三区町で左官工事業の会社を経営しております。有限会社阿久津左官店、壁の匠阿久津左官店の阿久津一志です。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は現場で壁も塗りますし、営業や打ち合わせもします。常々、職人育成の事について話す機会が多いので、今日は職人育成についてお話をさせていただきます。先日、日経新聞に取り上げられた記事がありますのでそちらの方をご覧ください。

私はこの左官という仕事を始めたのは高校卒業してゼネコンに勤めてから2年後になります20歳の時です。今は青峰高校となっていますが、以前は那須工業高校でした。その機械科の方で勉強しておりました。当時父の仕事が左官の仕事だったので現場が忙しくなると、よく現場に連れていかれて仕事を手伝っていました。その時にセメントと砂と水を混ぜたモルタルと言う材料をバケツに入れて運ぶのですが、1つが25キロで両手に持つと50キロの重さになります。かなり重いですし、夏は暑く冬は寒いのでとても大変でした。その時は父の跡を継ぎたいとは思いませんでした。私には弟が2人おまして私よりもガタイが良いものですから弟たちが跡を継いでくれるだろうと考えていました。

高校卒業した後に川田工業という会社に就職して橋梁の図面等を描いていました。私は設計士になって父に仕事が出来るような人間になりたいと思っていました。

ちょうど2年間、川田工業に勤めた時に父が持病の腰痛で長期の入院と手術をすることになりました。その時に父と話し合い跡を継ぐことになりました。当時、私は左官の技術も経営の知識もなく、何もわからなかったのが特にながら何が出来たと言うわけではありませんでした。会社の経営状態はかなり厳しく、年間の売上と同じ位の借入れがあり

ました。しかし、左官の道を選んだからには資格を取らなくてはならないと考えて6年間、左官の修行をしました。そして、一級左官技能士の資格を取りました。

その後、職人さんと一緒に仕事をするうちに現場での職人さんのマナーの悪さに問題意識を持ちました。例えば仕事を受注してから現場で仕事をした後に再受注が来ないという状況が続きました。そこを改善したいと考えて技術とマナーと知識のバランスのとれた職人さんを育成していこうと考えました。

現在の私の会社の職人さんの育成の仕方というのはこのような形になっています。現在6名の自社職人がいるのですが、4年前に壁の匠左官道場という左官技術の訓練施設を作りました。そこで技術の訓練を行い、今回のような勉強会にも参加してもらうようにしました。私は那須野ヶ原経営研究会という経営を勉強する会に所属していますが、そちらの勉強会にも社員さんを連れて行って一緒に勉強したり、自分達で社内勉強会を行ったりして勉強をしています。合わせてマナーの部分も良くしていくようにしています。

左官という仕事は、専門工事業種で当時は100%下請けで仕事をしていました。しかし、今現在は80%程度、エンドユーザーから直接受注の元請会社になることができました。これは職人育成の結果だと思えます。職人さんに現場管理を全てお任せして日報などもまとめて貰っています。デジカメとコンピューターを使って集計の方もしてもらいます。月末には私が集計をして請求書を出したりします。ですから私の会社には事務員さんはおりません。

昨今、働き方改革が私たちの業界に限らず、製造業サービス業等でも言われています。しかし、それをうちの会社に取り入れた場合に利益が上がりなくなってしまうのではないかと懸念がありました。しかし、職人育成をすることによって働き方改革に沿った仕事ができるようになりました。その取り組みの結果、昨年2月に那須塩原市初のユースエール企業に認定していただきました。

このユースエール企業の認定基準はかなり厳しいものであります。有給休暇の取得率や育休の取得、休日出勤や残業時間などの基準が設けてあります。その基準をクリアすることは難しい

ことですが当社は職人育成をする事により、クリアすることができました。栃木県では3社目でした。職人育成は事業承継にも役に立ちます。

皆さんもご存知かとは思いますが、岡野工業という会社があります。従業員3名で8億の売上を上げている会社です。痛くない注射針やiPhoneのバッテリーケースなどを作っている会社です。しかし、後継者が不在で黒字廃業と言う形になるそうです。全国的みると赤字で倒産する会社もありますが、後継者が不在で黒字廃業する会社が増えてきています。私の会社も事業承継がうまくいかなければ会社を続けていくことができません。しかし、職人育成をすることにより事業承継の方がうまくできそうです。

(DVD上映)

私が社長になったのは30歳の時です。当時、自分の中に問題意識としてあった部分を改善するために1年間勉強して経営理念を掲げました。その経営理念は

『私達は、礼儀・技術・知識の向上を目指し感謝の気持ちで社会に貢献します。』

と言うものです。この経営理念をもとに15年間仕事をしてきてこの経営理念の通りの職人が育ちました。それがこのDVDに出てくる職人達です。

事業承継がうまくいかない会社というのは職人育成ができていないのかもしれない。そのような会社の経営者を集めて勉強会を行うことにより事業承継がうまくできるように皆で勉強をしていければ良いのではないかと考えています。

今、三区町の方で左官の技術で空き家を再生して、職人ビレッジという施設を作っています。ここは様々な業種の職人さん育成の場ですが、近くに小学校があるので子供達に職人体験してもらえる場、職人体験ができるキッズシアのような施設にもしようと考えています。

私は経営のことを勉強してきて、経営理念がとても大事なものだと学びました。それと同時に事業計画もとても大事だということを実感しています。私たち職人の仕事は、今オリンピックが開催されていますが技術を高めて感動を与えると言う点では同じではないかと考えています。

職人がかっこよく働く姿を見て若い人たちが自分たちも職人になりたいと思うような仕事をしていきたいと思えます以上で私の卓話を終了させていただきますご清聴ありがとうございました。

今回は東京ロータリークラブ例会への出席のため、幹事報告・委員会報告・出席報告はございませんでした。

※今回分の出席報告は次号にまとめて掲載致します。

次回例会

平成30年3月14日

担当 会員選考／職業分類委員会

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：田中 徹・藤崎善隆・鳥居輝一